

<先週の説教から>

『年間聖句一重荷を負う者はおいで！』

武田真治 牧師

イザヤ書 61:1~4 マタイ福音書 11:25~29

私たちの教会は、この5月より、新しくなった各奉仕者によって礼拝やご奉仕が始まります。その意味で、この時点で年間教会標語や年間聖句についてのご一緒に思いを馳せる時を持っています。今年度の教会標語は『礼拝に集おう！主に癒され、整えられて』です。そしてこの標語を支える年間聖句が「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛(くびき)を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。」です。

このイエス様の言葉は何より「わたしのもとに来なさい」という“招き”です。その際、「わたしのもと」とはどこなのでしょう？ それは今の私たちにとっては何より“礼拝へ”ということではないでしょうか。私たちが礼拝に“集う”という事はこのイエス様の“招きに答える”ことなのです。

そして、この礼拝でイエス様から与えられるものが「休ませてあげよう」ということだと。まさに“心と体の安らぎ・平安”を与えられることが何より大事だということでしょう。その思いを年間標語に『主に癒され』という言葉で表しました。礼拝こそ真の心と体の両方で“癒しの場所・癒しの時”であるべきだと思います。ここが裁きや緊張の場所だけであるのなら、それはどこか間違っているのではと思います。

しかし、続いてイエス様は「わたしの軛(くびき)を負い、わたしに学びなさい。」と言われます。この「軛」とは、当時畑を耕したり、物を運んだりする時に牛を二頭並べて、その上に細長い木を渡し、両方の牛の首や肩に皮ひもで固定できるようにしたものを言います。なぜ、二頭立てにするのかと言えば、一頭の牛はよく慣れたベテランの牛を置き、その牛がもう一頭のまだ慣れていない若い牛を導かせるためでした。まさにイエス様が「わたしの軛」を負いなさいと言われているのは、まずイエス様がその軛のベテランの牛として、

並んでくださり『一緒に行こう』と招いてくださっているということなのです。このイエス様の軛の元に入れば、イエス様がこれからの“歩み方や道”をちゃんと教えて下さると。だから「わたしに学びなさい」と言われているのです。そしてイエス様は「柔和で謙遜」だから、上から目線で指導したり、パワハラされることはないから安心していいよと。以上のことを年間標語で『整えられて』と言いあらわしました。礼拝に於いて、過ぎた一週間の罪を悔い改め、み言葉を与えられ、聖霊を注がれ、新しい思いを持って、また一週間で歩み始める者へと。そのように『整えられて』、この一年も“礼拝から礼拝へ”と歩み進む者でありたいと願います。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 5月 17 (水) 20:00
II. 5月 18 (木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: 昇天日5/18を覚えて
担当者: (水)三箇 (木)丸茂
祈りに覚える人: 金刺さん 金刺さん

【教勢報告】

主日礼拝 男22 女56 計78
祈祷会 I. 男5 女4 計9 II. 男1 女9 計10
日曜学校 幼稚科9 小中 計23
ハンナの会 男2 女8 計10

【次週主日礼拝】 5月 21日 (日)

聖書: 創世記 18:1~10
ヘブライ人への手紙 13:1~8

説教: 「ヘブライ④9 — もてなすところ」
武田真治 牧師

讃美歌: 337(1)、32(1と2)、433(1~3)
419(1~3)、567(1~3)、27(1)

【次週当番表】

司式: 齋藤長老 奏楽: 羽倉 礼拝: 金刺長老
献金: 黒川 黒澤 受付 飯島 吉岡
会堂準備: 小杉 富澤 長田 橋本
北條

看板: 曾我 週報: 吉岡 お花: 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・幼稚園理事会
・オリブの葉編集委員会 ・日曜学校教師会・聖歌隊練習

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 5月 14日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>